

公衆衛生部門

受賞者： ほんま 本間 れいこ 玲子 トゥルー True (81歳)

アライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院 日本校 名誉教授
社会福祉法人 上越つくしの里医療福祉協会 顧問



本間氏は、23歳の若さで渡米、社会福祉士と臨床心理士の資格を取得後、生涯をかけて日米の精神保健活動の教育指導ならびに公衆衛生活動に尽力してきた。昭和50年から約40年にわたり、連邦政府や国立精神保健局にて米国西部の地域保健システム開発に貢献した。中でもサンフランシスコでは衛生局副局長として地域精神保健、薬物依存や司法医療などの管理、日系、アジア系市民のためのメンタルヘルスプログラムの開発、創設に尽力した。また、連邦政府在任中、日本精神病院協会の依頼を受け、協会員のために米国精神病院システム、地域精神保健システムの視察案内を引き受け、研究指導の援助を行った。それにより日本の精神科医療の改革に寄与し、長期入院精神患者の退院促進や精神障害者のリハビリに多大な影響を与えた。

平成元年サンフランシスコ大震災の際は、「全市の災害こころのケア」システムを作り、市民のトラウマケア援助リーダーとして活躍し、平成7年の阪神淡路大震災では「災害こころのケア援助活動」により災害復興に多大な影響を与えた。その功績により米国フルブライト資金を得、神戸大学医学部客員教授として招聘され、医療従事者、臨床心理士、カウンセラー、ボランティアなどに対し「トラウマケア援助スキル」の指導を行い、災害時のこころのケアシステム作りの礎となった。

氏は豊富な知見を元に様々な学会やセミナーなどで講演やパネリストとして多くの専門家を啓発した。現在も教鞭をとり、国内でのカウンセラー養成や精神保健従事者の指導にあたっている。

推薦者： 伊藤 雅治 全国訪問看護事業協会 会長
川室 優 社会福祉法人上越つくしの里医療福祉協会・
川室記念病院・高田西城病院 理事長